

活 用 事 例	広島市立藤の木小学校	小島史子教諭
活用事例タイトル	タブレットパソコンを活用したデジタルワークシートの実践 ＊デジタルワークシート：テキストボックスを操作して組み合わせるエクセルファイル	
対象授業科目/活動	国語	
授業または活動の概要(目的、実施時期、授業の場合教科名や単元名、対象学年、参加人数、ICTの使用局面など)	<p>第 5 学年 国語「新聞記事を読み比べよう」(東京書籍)、新聞記事を読み比べる学習での活用実践。</p> <p>対象児童の人数は、30 名。</p> <p>活用場面は、2つの会社の新聞記事を読み比べて、見出しやリード、写真の違いから書き手の意図を読み解く学習活動。タブレットパソコンに配布したデジタルワークシートの操作を、書き手の意図を読み解く手立てとした。</p> <p>デジタルワークシートは、エクセルで作成。新聞記事の見出し、リード、本文、写真を別々にファイル上に貼りつけ、それらをペンで操作して、正しいと思われる組み合わせを作り、その組み合わせの理由から書き手の意図を考えた。</p>	
ICT 活用により期待できる効果 ICT 活用のねらい	<p>文章の読み取りが苦手な児童にとって、すべての記事の内容を読み取って書き手の意図を考えることは難しい。しかし、記事を別々にし、読み取る部分を限定することで、1つ1つの記事を十分に読み取ることができ、読み取ったことを元に書き手の意図を考えるという、ステップを確実に踏んで活動できると考えた。</p> <p>また、デジタル化された各記事の組み合わせを考えることで、記事の中に繰り返し出てくる言葉や、写真と関連のある文章や表現に注目しやすくなると考えた。</p>	
評価、振り返り(活動の評判や児童・生徒の声など)	<p>デジタルワークシートを活用したことで、期待通り、どの児童も記事の組み合わせを考えることができた。組み合わせた理由についても、何度も出てくる言葉や、写真につながる表現の記事などに注目し、考えることができた。さらに、意図にまで迫った理由を考えた児童もおり、ねらいをほぼ達成することができた。</p> <p>数人、記事の組み合わせはできても、書き手の意図を考えることが十分にできていない児童がいた。このような児童には、記事の読み取りから意図を考えるまでに、スモールステップの発問が必要だったと考える。</p> <p>デジタルワークシートの活用は、児童の思考の支援となるが、十分な支援を行うためには、教師による発問も合わせて重要であると思った。</p>	
その他 (関連 WEB サイト等ありましたらご記入ください。)	NHK for school 「メディアのめ 第 4 回 工夫がいっぱい！新聞作り」 http://www.nhk.or.jp/sougou/media/index_2013_004.html	

<授業風景>

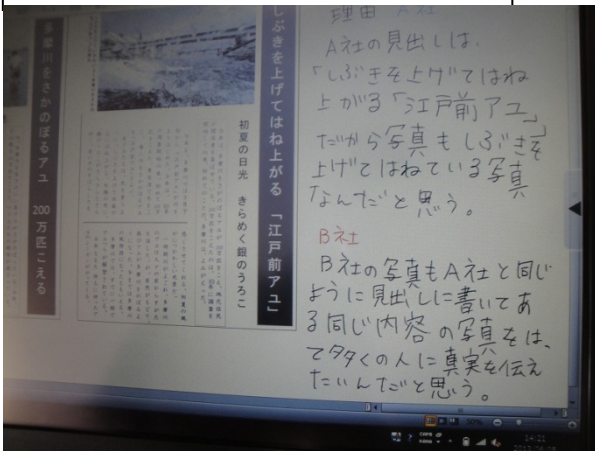
①TPC での作業中 (全体)



②TPC での作業中 (個人)



③デジタルワークシートへの書き込み



④デジタルワークシートへの書き込み



⑤ペアでの話し合い



⑥全体交流



国語科学習指導案

指導者 広島市立藤の木小学校
小島史子

本時の展開

学習の流れ	学習活動・主要発問	指導上の留意点・支援	ICT 機器・ソフト コンテンツ等
<p>導入</p>	<p>〈一斉指導〉</p> <p>1 前時までの復習をする。 「A社の本文は、読み手に何を伝えていますか。」 「B社の本文は、読み手に何を伝えていますか。」</p> <p>〈一斉学習〉</p> <p>2 めあてを確認する。 「2つの会社の見出しとリードと写真を確認します。」 「本文と組み合わせるのは、どの記事や写真でしょうか。」</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>本文に合う記事や写真を組み合わせ、書き手の意図をはっきりさせよう。</p> </div> <p>4 学習の見通しを持つ。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・前時の学習内容を振り返る際、ノートに整理した内容に目を通すよう促す。 ・児童に組み合わせを考えさせるため、記事の内容を資料ごとに見せる。 ・記事の内容を読み取れるよう、音読して確認する。 	<p>IWB, 自作デジタルワークシート</p>
<p>展開</p>	<p>〈個別学習〉</p> <p>3 2社の見出し、リード、写真と本文との組み合わせを考える。 「TPCを使って、本文と見出し、リード、写真を組み合わせましょう。」 「なぜ、そのように組み合わせるのか、理由も考えましょう。」</p> <p>〈協働学習〉</p> <p>4 考えた組み合わせを検討する。 「考えた組み合わせをペアで交流しましょう。」</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・組み合わせの理由づけを明確にできるよう、TPC上のワークシートで作業する。 ・文章の中の共通する言葉や書かれてある内容に注目するよう促す。 ・机間指導の際、交流するときには、根拠も併せて相手に説明するよう指導する。 ・交流して意見が変わったり付け加えたりしたい場合は組み合わせを変えてもよいことを伝える。 ・個人の考えを共有できるよ 	<p>TPC, 自作デジタルワークシート</p>

	<p>「考えた組み合わせを発表しましょう。」</p> <p>「なぜ、そのような組み合わせだと思ったのですか。」</p>	<p>う、児童が考えた組み合わせのワークシートをIWBに提示して発表する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・各児童から出た意見を集約できるように、黒板にも分割した記事を掲示する。 	
まとめ	<p>〈個別学習〉</p> <p>6 学習のまとめをする。</p> <p>「A社, B社, それぞれの書き手は, どのような意図を持って記事を編集したのでしょうか。」</p> <p>7 授業のふり返しをする。</p> <p>「今日の授業で分かったことを書きましょう。」</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・意図をまとめにくい児童がヒントにできるよう, 各児童のTPCの画面を巡回機能を使いIWB上に提示する。 	IWB, アクティブスクール